

宮城県における包括民間委託等PPP/PFI勉強会

資料7

■趣旨：老朽化施設の増大や執行体制の脆弱化が進む中、下水道の機能・サービスの水準を持続的に確保していくため、既に上下水道一体での包括的民間委託を導入している山元町をモデルとして、多様なPPP/PFI手法の導入に向けた方策やノウハウ等を検討・共有し、宮城県における下水道のPPP/PFIを促進する。

■参加団体：宮城県※1、山元町※2、大崎市、加美町
川崎町、栗原市、登米市
国土交通省（下水道部、東北地方整備局建政部）
一般財団法人宮城県下水道公社※3
（※1：事務局 ※2：モデル都市 ※3：オブザーバー）

■スケジュール：平成27年12月24日に第1回を開催。
年度内に第2回を開催予定。

■第1回の議題：（1）PPP/PFIに関する動向
（2）山元町における取組状況
（3）参加都市へのアンケート結果
（4）参加都市の概要と課題
（5）今後の勉強会の進め方

■参加団体の意見：

（大崎市）包括的民間委託の導入に際して、議会への説明や発注業務の進め方がわからない。

また、包括的民間委託導入後、受託者をモニタリングできる技術力を維持するための方策を知りたい。

（川崎町）現在、包括的民間委託（3年間）を実施中。平成28年度より、委託範囲に電力・消耗品の調達等も含める予定。

今後、より安定した上下水道事業を運営していくために、長期的な業務環境を整備する必要。

（栗原市）平成22年度より、下水道・農集を対象として包括的民間委託（レベル2.5）を実施している。

今後も地元企業を活用するための方策を検討する必要。

（登米市）各施設の修繕が一通り完了する平成32年度を目処に、包括的民間委託の導入について検討する予定。



第1回（H27.12.24）の様子